

[2024 年度]

繊維製品品質管理士試験

[V] 論文

論文の試験は、社会および繊維産業の現状の理解のうえに、TES として必要な識見を問うものです。評価は論点的確性、内容の深さおよび論旨の一貫性によります。

◆注意◆

1. 問題は開始の合図があるまで開かないでください。
2. 開始とともに、受験番号(4ケタ)と氏名を必ず解答用紙に記入してください。
3. 問題用紙に解答用紙が1枚はさみこんであります。解答用紙が入っていない場合、または2枚以上入っている場合は申し出てください。
4. 解答は、解答用紙の表にだけ記入し裏には書かないでください。また、矢印に沿って横書きで書いてください。

【書き方について】

- ①書き出しは1マス空けてください。
 - ②改行して段落を変えるときは、書き始めを1マス空けてください。
 - ③読点「、」、句点「。」は1マス使ってください。ただし、行の最初には「、」や「。」を入れずに、1行前の行末の文字のところに入れてください。
5. 解答は、600字~800字で記入してください。
 6. 解答用紙は、書き損じても再交付しません。十分気をつけて解答してください。
 7. 問題用紙の余白は下書きに使ってください。
 8. 印刷が不鮮明な場合は申し出てください。ただし、問題に関する質問は一切受け付けません。
 9. 解答を書き終えても、また、試験放棄しても試験が終わるまで退室できません。
トイレに行きたくなった場合、あるいは気分が悪くなった場合は、手をあげて監督者に申し出てください。
 10. 試験開始後は、参考書籍やテキストなどの使用を禁止します。また、携帯電話や時計型端末など電子機器類の使用も一切禁止します。使用が発覚した場合には、厳正に対処します。
 11. 試験終了後は、指示があるまで着席のまま待機してください。
 12. 試験中、顔写真と照合のため監督者が回ってきたときには、マスクや帽子などを着用されている場合は外して、顔をあげてください。
 13. 試験会場内は禁煙です。

次の論題に対して、600字～800字で答えなさい。

【論題】

日本の生産年齢人口（15～64歳）は、人口減少・少子高齢化の進行により、1995年の8,716万人をピークに減少し続け、2050年には5,275万人と推定されている（出所：令和4年版高齢社会白書）。

生産年齢人口減少に起因した繊維にかかわる産業における課題として、以下のキーワードを用いた問題点を具体的に2点示した上で、それぞれ今後どのように対応していくべきか、あなたの考えを述べなさい。

なお、上記の問題点とその対応については、一つのキーワードから問題点2点を示してもよいし、二つのキーワードから問題点1点ずつ計2点を示してもよい。

〈キーワード〉

1. ものづくり 2. 流通 3. 消費 4. メンテナンス 5. 働き方

〈以下の余白は下書きに使ってください〉